

一宮市東部処理区及び西部処理区大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>本市中心部に位置する東部処理区及び西部処理区の合流式下水道区域は、古くから下水道整備を進めてきた地区であり、管渠の老朽化が進行していることに加え耐震性能が未確保のものが多く残っているため、耐震化を実施することで地震時においても雨水排除機能を確保する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨：44.5mm/hr（実験式によるもの）</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：合流管渠の耐震性能の確保。</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)生命の保護の観点：災害拠点病院や広域避難所からの雨水排除機能について、レベル2地震動発生時にも現状の機能を維持する。</li> <li>ii)都市機能の確保の観点：緊急輸送路の埋設管を耐震化し、レベル2地震動発生時に交通機能を確保する。</li> <li>iii)個人財産の保護の観点：個人財産の浸水被害の増大を防ぐため、レベル2地震動発生時にも現状の雨水排除機能を維持する。</li> <li>iv)その他：特になし</li> </ul> <p>③ ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>レベル2地震動に対して耐震化を行い、雨水排除機能を確保することを目的とする。</li> </ul> </li> <li>ii)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> <li>過去豪雨の浸水実績を基にした内水ハザードマップを市公式ウェブサイトにて公表することにより、住民の危機管理意識を高めることを目的とする。</li> </ul> </li> </ul>

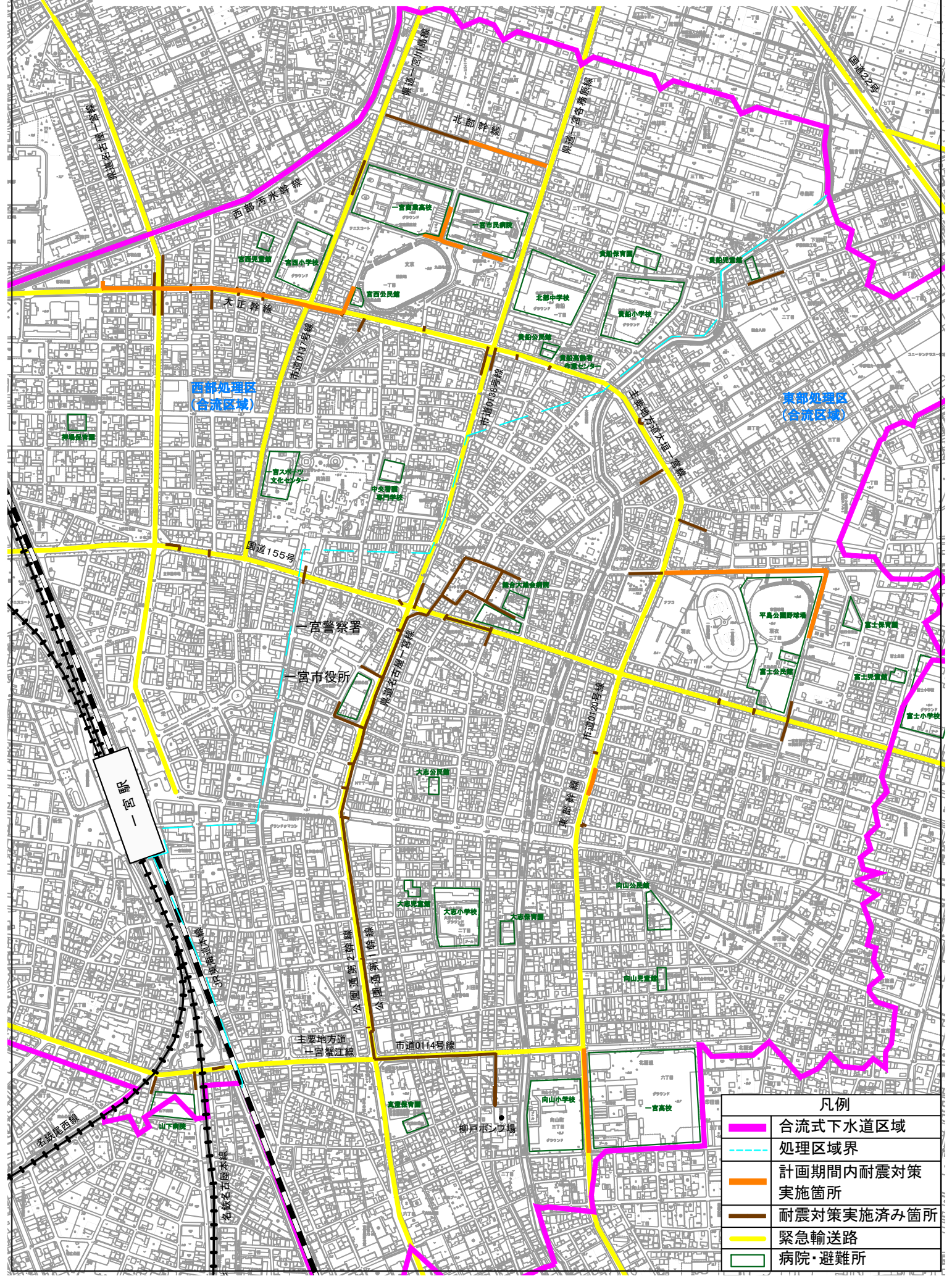
項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<p style="text-align: center;">●有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>策定予定</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・合流管渠の耐震化 L=1,823m
			下水道管理者以外	—
	ソフト対策	下水道管理者	・過去豪雨の浸水実績を基にした内水ハザードマップの市公式ウェブサイトでの公表	
		下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水ハザードマップの作成、公表(治水課)</li> <li>道路冠水等の被害情報の公開(危機管理課)</li> <li>あんしん・防災ネット(危機管理課)</li> <li>緊急速報「エリアメール」・緊急速報メール(危機管理課)</li> </ul>	
	自助	ハード対策	・雨水貯留・浸透施設，防水板施設設置の推進 (一宮市浸水対策施設設置補助制度)(治水課)	
		ソフト対策	—	

年度計画（百万円）

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
合流管渠耐震化	148	143	181	153	625

項目	内容・施策等
整備効果	・重要な管路に該当する合流管渠について、レベル2地震動に対して耐震化を行うことで、地震時においても雨水排除機能を確保する。
放流先河川との調整状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul> ※現状の機能維持のため調整の必要なし。
その他	・特になし

# 一宮市東部処理区及び西部処理区大規模雨水処理施設整備事業



凡例	
	合流式下水道区域
	処理区域界
	計画期間内耐震対策実施箇所
	耐震対策実施済み箇所
	緊急輸送路
	病院・避難所